

入院診療計画書② 心臓血管外科 大血管手術

ID	患者ID	新規作成日	新規作成日
氏名	氏名		

月日	～		～		～退院		
経過	術後当日		術後1～2日		術後3～6日	術後7日～退院まで	
目標	創部に異常がない				創部に異常が無い		
	創部の痛みがなく過ごせる				創痛コントロールができ、リハビリを進めることができる		
	呼吸、循環動態が安定して過ごせる				呼吸、循環動態が安定して過ごせる		
	手術後の合併症がない				退院に向けて不安や疑問を解消できる		
注射	点滴を行います				点滴を継続します		
投薬	胃管チューブから胃を保護する薬を使用します				内服薬は看護師が配ります		
	挿管チューブ、胃管チューブが抜けたら内服を開始します 内服薬は看護師が配ります						
検査	手術後帰室時、必要時に血液検査を行います		朝6時、必要時に血液検査を行います		採血やX線撮影、心臓超音波などの検査を実施します		
	手術後帰室時に12誘導心電図検査を行います		午前中に12誘導心電図検査を行います				
放射線	帰室時に胸腹部X線撮影、夜間に胸部X線撮影を行います		朝、必要時に胸部X線撮影を行います				
処置	挿管チューブが挿入され、人工呼吸器が装着されています		医師の回診があります 状態が良ければ、人工呼吸器を外します		朝9時前後から医師の回診がありますので、ベットでお待ちください 朝食前に体重を測定します 適宜、血糖を測定します 		
	頸部に中心静脈カテーテル、肺動脈カテーテル、胸部に一時的体外ペースティング、手に動脈ライン、静脈ライン、創部付近にドレーン類、鼻腔に胃管チューブ、尿道留置カテーテルが挿入されています。管類の抜去の時期は診察で判断します						
	手術後ベットの上で体重測定を行います		状況に応じてベッドから降りて体重測定を行います				
食事	終日飲水・食事はできません 手術後の食事を再開する時期は診察で判断します				治療食になります。持ち込みは禁止させていただきます		
清潔	口腔内の清潔を保つ援助を行います				身体を拭く援助を行います 診察の結果でシャワー浴が可能になります		
	身体を拭く援助を行います						
排泄	ベットの上での排泄です		状態が安定し、診察で歩行の許可ができればトイレで排泄します		毎回尿量測定を実施します トイレに行くたびに尿の量を測定し、用紙に記載していきます。看護師が説明します 		
	尿道留置カテーテルが挿入されています						
活動	安静度	手術後は点滴や管類があるためベット上安静です					
	リハビリ	看護師付き添いのもと心臓リハビリテーション表に沿ってリハビリを行います					
看護ケア	手術後帰室時、手術後24時間は1時間毎に検温をします		検温をします				
指導	手術後医師が、手術経過を説明します 挿管チューブが挿入されている間は、お話をすることができません。簡単な質問や筆談にてコミュニケーションをとらせて頂きます 痛みやつらい所がある時は薬を使うことができます。我慢せずにお伝えください		診察の結果で、CCU病棟へ移動します（術後の経過によって前後する場合があります）		状態によってCCUから、一般病棟A棟3階に移動します 退院までの間は血糖測定や尿量測定など患者さんに負担となる行為が多く存在しますが、ご協力とご理解の程よろしくお願ひいたします 実施されている内容等に疑問などあれば、いつでもお声かけください。		